

PPP/PFI等に関するワーキンググループ（第2回） ご説明資料

令和3年9月6日
経済産業省

工業用水道分野におけるコンセッション方式の利用拡大に向けた取組について

「工業用水道事業におけるP F I 導入の手引書」の改訂

- 昨年度までに行った協力事業者に対する導入可能性調査等の調査結果等を踏まえ、「工業用水道事業におけるP F I 導入の手引書」を工業用水道事業者にとって実務的に有益となる内容※に改訂。【令和3年8月】
(※) 公共施設等運営事業導入に向けて先導的に取り組む事業の事例を具体的に示した導入プロセス説明の拡充、検討作業のプロセスチェックリストの追加等。

全国各地での普及・啓発活動

- 全国各地で開催する会議において、改訂版手引書の説明や先行事例の紹介等の普及・啓発活動を行う。
- 具体的には、今年度、厚生労働省と共催で官民連携推進協議会を開催予定（全4回）。また、経済産業省単独でも各地域ブロックでの懇談会を開催予定。

令和3年6月18日 PPP／PFI 推進アクションプラン（令和3年改定版）における工業用水道分野の目標

今後についても公共施設等運営事業を活用し、民間の創意工夫による良質なサービスの提供、収入の増加や経費の縮減による財政負担の軽減を図るため、引き続き重点分野とし、次に掲げる措置等を講ずる。

- PPP／PFI 導入促進に資するよう「工業用水道事業におけるP F I 導入の手引書」を改訂し、地方公共団体等に周知を行う。
- 先導的に取り組む地方公共団体等に対し、案件形成に向けて先進的な取組事例に関する情報提供や助言等により継続的な支援を行う。
- 全国各地で官民連携推進協議会や地域懇談会等を活用した啓発活動を実施し、先進事例の情報共有を通じて事業の横展開を図る。

工業用水道分野におけるVFM算定状況について

	熊本県有明・八代工業用水道運営事業	大阪市工業用水道特定運営事業等	宮城県上工下水一体官民連携運営事業
VFM	<p>20年間で約15.2億円 (-5.1%)</p> <p>※共同管理者の費用縮減効果等を含む。</p>	<p>10年間で約32.1億円 (-17.4%)</p>	<p>20年間で約47億円 (-19.7%)</p> <p>※工業用水道の縮減効果</p>
理由	<ul style="list-style-type: none"> 更新および維持管理等の業務を一体的に発注することによる事業費の削減効果 	<ul style="list-style-type: none"> 更新および維持管理等の業務を一体的に発注することによる事業費の削減効果 新規需要開拓等による収益性の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 更新および維持管理等の業務を一体的に発注することによる事業費の削減効果 新技術の導入による業務効率化



工業用水道分野における公共施設等運営事業に係るVFMは、業務を一括して発注することによる更新投資費や維持管理費の削減や、新技術等による業務効率化等の要素により、一定の効果が創出されていると評価できる。